

新型コロナウイルスワクチン Q&A

Q：ワクチンは全ての人が打つ必要がありますか？

A：ワクチンが体に合わない人も存在するため、全ての人は難しいかもしれません。世界保健機関（WHO）の専門家は、ワクチンによって社会全体の抵抗力である集団免疫を獲得する方法として、65—70%の接種率を挙げています。

Q：ワクチンを接種した後も、マスクは必要ですか。

A：ワクチンを接種した方から他人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていません。引き続き、マスク着用・手指衛生など、感染予防対策を続けていただくようお願いいたします。

Q：接種後に発熱した状態で人と会った場合、周りの人を感染させてしまうことはありますか。

A：ワクチンの接種による発熱は免疫反応で起きるものであり、ワクチンが原因で周りの人に感染させることはありません。ただし、たまたま同じ時期に新型コロナウイルスに感染していた場合は、周りの人に感染させる可能性はあります。

Q：副反応は1回目の接種後より2回目の接種後の方が強いと言われるのはどうしてですか。

A：1回目のワクチン接種でいくらか免疫がつくことで、2回目の接種の方が、免疫反応が起こりやすくなるため、発熱や倦怠感、関節痛などの症状が出やすくなります。

Q：ワクチンを受けた後に熱が出たら、どうすれば良いですか。

A：ワクチンによる発熱は接種後1~2日以内に起こることが多く、つらい場合は解熱鎮痛剤を飲むなどして、様子をみてください。

Q：変異株の新型コロナウイルスにも効果はありますか。

A：一般的に、ウイルスは絶えず変異を起こしていきませんが、小さな変異でワクチンの効果がなくなるわけではありません。それぞれの変異株に対するワクチンの効果がどのくらいあるのかについても、調査が進められています。

Q：妊娠中・授乳中・妊娠を計画中ですが、ワクチンを接種することができますか。

A：妊娠中、授乳中の方は、個別にご相談ください。

妊娠を計画中の方については、接種後の長期避妊は必要ありませんが、可能ならば妊娠前に接種を受けるようにし、妊娠12週までは接種を避けてください。

(厚労省 新型コロナワクチン Q&A参照)

令和3年6月21日

感染対策室